

●「行方」は、常陸風土記にも見られるとおり、遠い昔から、美しい自然環境で、豊かな生活の場であったと思います。今は陸の孤島などと言われていますが、豊かな自然と人情あふれる人々の営みは、子孫に残したい宝だと思っています。

●学校建設や行財政改革、少子高齢化対策など多くの課題があるとは思いますが、声にならない声もあることを汲み取っていただきながら、議会です十分に論議をしていただきたいと思えます。行方の良さを前面に出し、多くの方の知恵と汗を結集して、時代に押し流されることなく、地に足の着いた素晴らしい行方市を市民とともに創造してください。(50代 女性)

●昨年は、リーマンショック以来の不景気で、日本の経済もそうですが、専業農家の我が家も米、畑作の野菜にもろに影響を受け、とても大変でした。今年こそはきちんとした農業改革をしてもらわないと、私たちはこの先進めないと、私たちがこの先進めないと、思っています。よろしくお願ひします。(50代 女性)

●消防団も合併してから早4年。しかし、単位消防団同士の交流が少なく、一般団員が他地区の活動内容や形態を見聞する機会や行事がほとんどないので、合併したという実感はない。入団して20年以上だが、町単位・分団同士の活動内容を団員レベルで話し合う機会もなかった。中には充実した活

動をして、地域活動にも大きく貢献している消防団もあると聞く。この際、消防フォーラムを開催し、各部の交流を図り、活動内容を広く啓蒙して、消防団の活動充実を促したらどうでしょうか。行方市消防団としての一体感も生まれ、地域力の向上も期待できる。

(40代 男性)

ちょっと一言!!

市民の声

広報委員が市民の皆さんに、行方市に寄せる思いをインタビューしました。



●実家を大学進学のため離れて15年。先日、新築しこちらへ戻って来ました。郊外型スーパーやホームセンターなど、以前には考えられないような施設が近隣に出来ていて、非常にびっくりしておりま。とは言え、近所の方々の温かさや変わらぬ風景は変わって、地元の良いところは変わらないと感じた次第です。今後とも行方市民としてよろしくお願ひします。(30代 女性)

●私は二人の孫の祖父、80歳です。一人はこの春、大学を卒業します。この経済不況、未だに就職が決まっておられません。親と孫の会話を耳にし、祖父として何とも切なく、やり切れない思いでいっぱいです。

●当、行方市を見ましてもこれといった大きな会社は見当たりませんが、特に行方市役所、麻生、玉造、北浦が超一流会社に見えてなりません。社員400人以上の皆さんの中にはご夫妻で働く社員もいるとのこと、うらやましい限りです。

不況下の日本、仕事も少なくなり、「ワークシェアリング」といって、少ない仕事を皆で分け合い、助け合い働いている社会を市執行部の皆さんはどのようにお思いでしょうか。私の孫にも働く場所を与えていただけないものでしょうか。(80代 男性)

●市内を移動していると「防犯パトロール実施中」のステッカーを貼った車を多く見ます。ステッカーを貼ることが定着し、地域をあげて防犯に取り組んでいることはとても良いことだと思えます。「見られている」という意識が犯罪を未然に防いでいると思うのですが、いつも同じ車に貼られていることに見慣れてしまうと効果が低くなってしまふのではと思います。貼り方を変えるなど、何か工夫が必要だと思えます。(40代 女性)

みんなで傍聴しましょう!! 次の定例会は3月4日(木)開会予定です。
主な内容は、平成22年度予算審査などです。

編集後記

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

●昨年は、国内、国外において多くの出来事がありました。

●アメリカ合衆国ではオバマ大統領が誕生し、日本では衆議院選での民主党の圧勝により鳩山内閣が誕生しました。県や市においても変革の年であったと思えます。

●このような中、国や地方は未だ景気低迷の出口が見えないままの状況が続いています。鳩山内閣には中長期のシナリオを描き、いち早く実行していただくことを期待します。

●行方市も伊藤市長を中心に議会や行政等が一丸となつて、より良いまちづくりをしていかなければならないと思えます。

●また、議会だより「市民の声」では多くの皆様から貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。皆様から拝聴いたしましたご意見を市政に反映できるよう努力していきたいと思えます。今後も皆様に親しまれる分かりやすい議会だよりの編集に努めていく所存です。

●むすびに、本年が皆様にとって良い年であるよう、また天候に恵まれ豊作の年になりますよう御祈念申し上げます。(松兼幸蔵)

広報委員会

委員長	宮内 正
副委員長	高橋 正信
委員	松兼 幸蔵
	鈴木 義浩
	関野 謙一
	横田 太一